

関係各位

2016年6月22日

ロッテの経営正常化を求める会  
株式会社光潤社  
代表取締役社長 重光宏之

株式会社ロッテホールディングスに対する質問状の提出に関するお知らせ

ロッテグループにおける一連の経営上の問題において、お客様、お取引先、社員とそのご家族及びロッテグループを支えて下さっている皆様にご心配をおかけしています事を深くお詫び申し上げます。

株式会社光潤社（以下、「光潤社」）は、株式会社ロッテホールディングス（以下、「ロッテホールディングス」）の最大株主として、日韓両国において報じられている韓国ロッテグループの裏金作りや役員らの背任、横領などの疑惑をはじめとする、韓国ロッテグループにおける一連の疑惑や事件、処分（以下、「本件疑惑等」）に関して重大な関心を寄せており、また、株主のみならず、社員やロッテグループに関係するステークホルダーの皆様に対して本件疑惑等について適切な説明がなされていない現状に鑑み、別紙のとおり、ロッテホールディングスに対して質問状を提出いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本質問状の各質問について、光潤社はロッテホールディングスに対し、2016年6月25日（土）に開催されるロッテホールディングスの定時株主総会において個別に回答するよう求めております。

以上

(別紙)

株式会社ロッテホールディングス  
代表取締役社長 佃孝之様

2016年6月22日  
株式会社光潤社  
代表取締役社長 重光宏之

質問状

拝啓

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社は、株式会社ロッテホールディングス（以下、「ロッテホールディングス」）の最大株主として、日韓両国において報じられている韓国ロッテグループの裏金作りや役員らの背任、横領などの疑惑をはじめとする、韓国ロッテグループにおける一連の疑惑や事件、処分（以下、「本件疑惑等」）に関して、重大な関心を寄せております。また、ロッテホールディングスの社員の方々によれば、貴殿を始めとするロッテホールディングスの現経営陣は、本件疑惑等に関して、社員に対してすら、韓国ロッテグループの親会社としてどのように対処するのかについて、何ら説明をしていないとのことであり、また、社員のみならず、そのご家族やお取引先などのステークホルダーの方々も、本件疑惑等に関して不安を抱いているとも聞き及んでおります。

このような背景から、当社は、本件疑惑等について、ロッテホールディングスとしてどのように対処していくのかについて説明を求めるとともに、当社と同じく本件疑惑等に重大な関心に寄せている他のステークホルダーの方々にも周知させる必要があると考えております。

本状にて、以下の通り、貴社に対して質問をさせていただきますので、2016年6月25日（土）に開催される定時株主総会において、各質問に個別にご回答ください。

なお、上述いたしましたとおり、本件疑惑等に関しては、ロッテグループの多くのステークホルダーが重大な関心を寄せておりますので、貴殿からのご回答内容（ご回答いただけなかった場合にはその旨）を公開させていただくことがございます。この点予めご了承くださいますようお願いいたします。

敬具

## 1. 本件疑惑等にかかるロッテホールディングスの対応に関する質問

- (1) 本件疑惑等のうち、ロッテグループの系列会社の間で資産を移動させ、裏金（韓国メディアによれば数億円規模）を作ってきたという疑惑に関する一連の報道を受けて、ロッテホールディングスの子会社管理の観点から、(i)これまでにロッテホールディングスとしてどのような具体的な対応をとったのか、(ii)事実解明への努力はしているのか（しているのであれば、具体的に説明いただきたい）、(iii)ロッテホールディングスとして捜査に協力しているとのことであるが、具体的にどのような協力をしているのか、(iv)今後はどのような対応をとる予定なのか。
- (2) 本件疑惑等のうち、ロッテマートが販売した加湿器殺菌剤により多数の被害者が出た事件に関する一連の報道を受けて、ロッテホールディングスの子会社管理の観点から、(i)これまでにロッテホールディングスとしてどのような具体的な対応をとったのか、(ii)事実解明への努力はしているのか（しているのであれば、具体的に説明いただきたい）、(iii)ロッテホールディングスとして捜査に協力しているとのことであるが、具体的にどのような協力をしているのか、(iv)今後はどのような対応をとる予定なのか。
- (3) 本件疑惑等のうち、ロッテホームショッピングによる虚偽の事業計画の提出によるプライムタイムの放送禁止に関する処分に関する一連の報道を受けて、ロッテホールディングスの子会社管理の観点から、(i)これまでにロッテホールディングスとしてどのような具体的な対応をとったのか、(ii)事実解明への努力はしているのか（しているのであれば、具体的に説明いただきたい）、(iii) ロットホールディングスとして捜査に協力しているとのことであるが、具体的にどのような協力をしているのか、(iv)今後はどのような対応をとる予定なのか。
- (4) (i)本件疑惑等について、ロッテホールディングスでどのような調査を行ってきたのか、また、これまでの調査結果はどのようなものか、(ii)ロッテホールディングスでは、子会社管理の観点から、ロッテグループ内の子会社管理として通常どのようなことを行っているのか（例えば、内部監査部門が行っている子会社管理の具体的な内容、子会社に対する内部監査の状況（頻度、調査項目））、(iii)上記(ii)における内部監査によって、本件疑惑等は発見できなかったのか。できなかったとしてその理由は何か。
- (5) 昨年8月の臨時株主総会において、コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス経営を強化する方針を確認し、かつ、そのために佐々木知子氏を社外取締役

として選任する旨の決議をしているが、その決議から1年をたたずして、子会社において本件疑惑等が発覚している。(i)当該株主総会で決議された内容は、全くの建前だったのではないか。昨年8月以降、日韓ロッテグループにおいて、具体的にどのような対応を行ってきたのか。(ii)具体的な対応を行ってきたのであれば、それにもかかわらず、本件疑惑等を認識し、是正できなかったのか。本件疑惑等を認識・是正できるような、日韓を含むグループコンプライアンス体制の整備ができていなかった理由は何か。

- (6) 本件疑惑等について、従業員持株会を含む他の株主に対して何らかの説明を行ったのか。行ったとして、どのような内容の説明をしたのか（行っていないのであれば、なぜ本件疑惑等に関する事実を、きちんと説明しないのか。）。
- (7) 従業員は、ロッテグループの将来や、自分や家族の将来のことを大変不安に思っているはずであるが、本件疑惑等について、従業員に対して何らかの説明を行ったのか。行ったのであれば、どのような内容の説明をしたのか（行っていないのであれば、なぜ本件疑惑等に関する事実を、きちんと説明しないのか。）。従業員を大切にしているロッテグループの精神はどこに行ってしまったのか。
- (8) 本件疑惑等に関するロッテホールディングスの対応は、基本的に、対外的に何の表明も行わないというものであるが、一般消費者を主要なお客様とする企業として、消費者、顧客、取引先、地域・社会等の関係者の皆様への説明は必須である。それにもかかわらず、なぜ説明を行わないのか。これらの関係者の皆様への責任についてどう考えているのか。
- (9) 本件疑惑等に関して、日韓両国において連日報道されているにもかかわらず、社会の木鐸たるメディアに対しても、ロッテホールディングスの代表取締役である重光昭夫氏又は佃孝之氏が何ら有効な対応を行った形跡が見当たらない。メディアに対しても説明をなぜ行わないのか。行う必要性を認識していないのか。

## 2. ロッテホールディングス取締役の資質に関する質問

- (1) 現経営陣は、日韓ロッテグループの資本構造の頂点に位置するロッテホールディングスの取締役として、子会社における本件疑惑等によりグループ全体の社会的信用や企業価値を毀損する事態を引き起こしたことに対して、どのように責任をとるつもりなのか。

- (2) 韓国報道によれば、遠くない将来、重光昭夫氏は逮捕されるのではないかと報じられている。現役の代表取締役が逮捕される事態となれば、企業にとっては致命的なダメージとなりうるが、重光昭夫氏を在任させたままにしているのか。
- (3) 重光昭夫氏について、韓国検察当局最大規模の捜査がグループについて行われたというのに、即刻帰国して対応に当たるともせず、2週間以上も韓国を不在にするというのは、企業トップとして、危機管理の資質に著しく欠けるのではないのか。
- (4) 日韓ロッテグループの資本構造の頂点に位置するロッテホールディングスの代表取締役として、自宅を捜索されたと報じられている重光昭夫氏自身から、本件疑惑等（特に捜査の対象となっている疑惑）の真相に関する説明を求める。
- (5) 小林正元氏についても、日韓ロッテの資金の流れの中心に小林氏がおり、韓国の捜査機関が小林氏を召喚する可能性があるとの報道が出ている。小林正元氏は本件疑惑等に関連して、どのような対応を行っているのか。ロッテホールディングスが捜査に協力するというのであれば、重光昭夫氏のみならず小林正元氏も、すぐに韓国に赴いて韓国の当局に事実を説明すべきと思うが、ロッテホールディングスとしてどのように考えるか。
- (6) 日韓ロッテグループの資本構造の頂点に位置するロッテホールディングスの取締役として、小林正元氏自身から、本件疑惑等の真相に関する説明を求める。
- (7) ロッテホールディングス取締役と韓国ロッテグループの会社の役員を兼任している重光昭夫氏及び小林正元氏について、自ら韓国事業を監督していたにもかかわらず、本件疑惑等を防げなかった理由は何か。
- (8) ロッテホールディングス経営陣は取締役会構成員として、監視義務の履行として重光昭夫氏及び小林正元氏への説明要求等を行い、韓国事業の問題点について従前から把握できていたのか。具体的にどのような問題点を把握していたのか。
- (9) 自社の代表取締役である重光昭夫氏にも嫌疑がかけられていると報じられている中で、同氏の疑惑の真相解明のために現経営陣はどのような対応をとったのか、または今後とろうとしているのか。
- (10)(i)社外取締役佐々木氏は、いつ、本件疑惑等について認識し、現在、どのような事実を把握しているのか。(ii)佐々木氏は、社外取締役として、本件疑惑等に対す

るロッテホールディングスの一連の対応は適切であると認識しているか（どのような対応がどのような意味で適切と考えているのか。）。(iii)佐々木氏は、本件疑惑等に関して、具体的にどのような対応をとってきたか。また、(iv)佐々木氏は、コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス体制の強化のために選任された社外取締役として、このようなときにこそ、ロッテグループ全体を正しい方向に導くために、率先して積極的な対応策を打ち出し、行動を起こすべきであるが、佐々木氏は、今後どのような対応をとる予定か。

- (11) 今回、韓国ロッテを統括する立場にある重光昭夫氏が惹起した本件疑惑等及び韓国検察によって前代未聞の規模で家宅捜索を受けるという事態は、2015年1月に重光宏之を解任させた際に、現経営陣が作出した解任理由として挙げられたロッテグループへの損害とは比較できない程の甚大な損害を与えていることは明らかであるが、ロッテホールディングスとして重光昭夫氏に辞任を求めないのか。もし求めないのであれば、なぜ辞任を求めないのか。
- (12) 当社が定時株主総会に提案している取締役選任議案における取締役候補者の重光宏之及び磯部哲氏は本件疑惑等に全く関与しておらず、実務経験豊富であるから、ロッテホールディングスの将来の経営を担うにふさわしいことは明らかであるが、これについて、ロッテホールディングスはどのように考えるか。また、そのように考える理由は何か。

### 3. ロッテホールディングス監査役の資質に関する質問

- (1) 今村修氏は、昨年8月のコーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス体制の強化に関する株主総会決議後、当該決議を受けて、具体的にどのような対応をしてきたのか。
- (2) 今村氏は、(i)いつ、本件疑惑等について認識し、現在、どのような事実を把握しているのか。(ii)今村氏は、監査役として、本件疑惑等に対するロッテホールディングスの一連の対応は適切であると認識しているか（どのような対応がどのような意味で適切と考えているのか。）。(iii)今村氏は、本件疑惑等に関して、具体的にどのような対応をとってきたか。また、(iv)今村氏は、今後どのような対応をとる予定か。
- (3) 本件疑惑等は、ロッテグループのコンプライアンス体制の整備が不十分であったことにも一因があると考えているが、十分な体制を構築してこなかった今村氏に

は、職務懈怠があったと考えるべきであり、即刻監査役を辞任する（辞任しない場合には解任される）べきだと考えるが、ロッテホールディングスはどのように考えるか。また、そのように考える理由は何か。

- (4) 監査役候補者である本村健氏は、会社経営に関する法令に精通した弁護士であり、コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス体制に問題を抱えているロッテホールディングスの監査役に適任であり、監査役に選任されるべきと考えるが、ロッテホールディングスはどのように考えるか。また、そのように考える理由は何か。

以上